

系

～いと～



知-ガン

さわやかなあいさつ 文武両道 光る汗!

野木町立野木中学校 学校だより

令和7年度 12月②号 文責:校長 星 育夫

今年も残すところあとわずか、充実した2学期も来週終業式となります。インフルエンザなどに気を付けながら、無事に終えることができればと思います。

野木中生への思い ～町長とのふれあいタイム～

11月25日(火)に真瀬町長が来校し、3年生とのふれあいタイムが実施されました。もうすぐ卒業を迎えそれぞれの道を歩む3年生に、「野木町で育ったこと野木中で学んだことを誇りに、自分の好きなことを見つけて歩いてほしい。」と熱いメッセージが送られました。また「どんな絵を描いているか」「なぜ町長になろうと思ったのか」「若さを保つ秘訣」「好きなテレビ番組」などの多くの質問にも、丁寧に答えてくださいました。町長さんの野木町や野木町の子どもたちへの愛を感じられる素敵な時間でした。



よりよい町づくり ～野木町議会傍聴～

12月1日(月)に3年生はクラスごとに12月野木町議会(一般質問)を見学しました。社会科の公民分野で行政や議会制については学んでいますが、本物の議会を傍聴するのは初めての経験で、生徒は議員から出された質問や意見、それに対する町長や行政職員の答弁、さらに町をよりよくするための議論を生で見ることができました。事後の生徒の感想には、「町をよくするためのいろんな提案や方針が興味深かった」「自分も野木町のためにできることを考えていきたい」などの意見が多く見られました。質問が自分たちに関係することが多かったり、前校長である永井教育長が答弁を行ったりで、生徒は議会をより身近に感じたようでした。



身近な人権問題について学ぶ ～人権週間・人権講演会～

12月3日(水)の5時間目、野木町人権擁護委員の皆さんをお招きし、人権講話が開かれました。

今回取り上げていただいた人権問題は、「デートDV」です。恋人同士の間でおこる、相手を支配・コントロールしようとする暴力全般をデートDVと言いますが、それが起こる原因やその種類(身体的暴力・精神的暴力・経済的搾取・性的暴力)、具体的な事例などについて、人権擁護委員の佐藤さんの講話や映像資料などから学びました。「自分はこんなに思っているから」「自分は特別な存在だから」という思い込みや決めつけ、相手の体や気持ちを無視した身勝手な言動が、相手の体や心を深く傷つける人権侵害につながるということを学ぶ機会となりました。



心に森を育てよう ～校内読書週間～

今年の全国的な読書週間は10月27日～11月9日でしたが、本校では大きな行事がない時期に落ち着いて読書に親しもうというねらいで、12月8日(月)～19日(金)までの2週間を読書週間としました。期間中は「図書委員&先生の“おすすめの本”」の紹介や「標語」の募集、「冬休み特別貸し出し」「特製しおり」のプレゼント「多読者ベスト10」の発表など、図書委員会が中心となり全校生の読書活動を活発にするための取り組みを展開しています。昼休みの図書室では、互いの読んだ本を薦めあったり、同じ本の内容について熱く語り合ったりする姿が多く見られました。読書好きな野木中生が沢山いることをとても嬉しく思いました。

多読者学年ベスト10 (4月～11月)

【1年生の部】	【2年生の部】	【3年生の部】
さん 124冊	さん 84冊	さん 139冊
さん 93冊	さん 81冊	さん 102冊
さん 74冊	さん 60冊	さん 84冊
さん 64冊	さん 58冊	さん 53冊
さん 59冊	さん 55冊	さん 52冊
さん 53冊	さん 45冊	さん 50冊
さん 51冊	さん 40冊	さん 42冊
さん 50冊	さん 39冊	さん 28冊
さん 48冊	さん 37冊	さん 27冊
さん 44冊	さん 35冊	さん 24冊

野木中の未来を託す ～令和8年度生徒会役員立会演説・選挙～

12月12日(金)に令和8年度の生徒会役員を選出するための選挙(立会演説会及び投票)が行われました。生徒たちは演説会で、会長、副会長候補者の抱負や公約に熱心に耳を傾けた後、これからの野木中を託す大切な一票を投じました。記載台と投票箱は、町からお借りした本物を使いました。3年生は議会傍聴で質問のあった「主権者教育」を実感できたと思います。



校長からのメッセージ ～「人権講話」のあいさつで生徒にこんなお話をしました～

「人権って何?」と聞かれて皆さんは何と答えるでしょうか。人権は決して難しいことではありません。「みんなが笑顔 だれもが笑顔」でいられるようにみんなが心がければ、人権は守られるのです。逆に言うと、自分や一部の人が笑顔だったり、誰かが悲しい思い、辛い思いをしたりしている状況は、人権が侵害されているということです。一部の人の利益や立場ばかりが主張され争いが止まない、自分の意にそぐわない人やことに SNS などで誹謗・中傷をする。今の世界は、残念ながら「21世紀は人権の世紀」と期待された姿にはなっていません。人生の半分以上が20世紀の私は、21世紀を担う皆さんに真の「人権の世紀」を築いてほしいと願っています。まずは自分の学級、部活動、この学校、家庭を振り返ってみてください。「みんなが笑顔 だれもが笑顔」と言えるでしょうか?大切なのは自分や他者の「人権」が守られているか、侵害されていないかに気づける「人権感覚」と、それを許さない意思をもった「行動」です。